

3 タイマイ飼育試験

藤本 裕

昭和48年秋より当支場で飼育中のタイマイを継続して飼育し、ウミガメ飼育に関する基礎資料として、タイマイの増肉係数を明らかにすることを試みた。

方 法

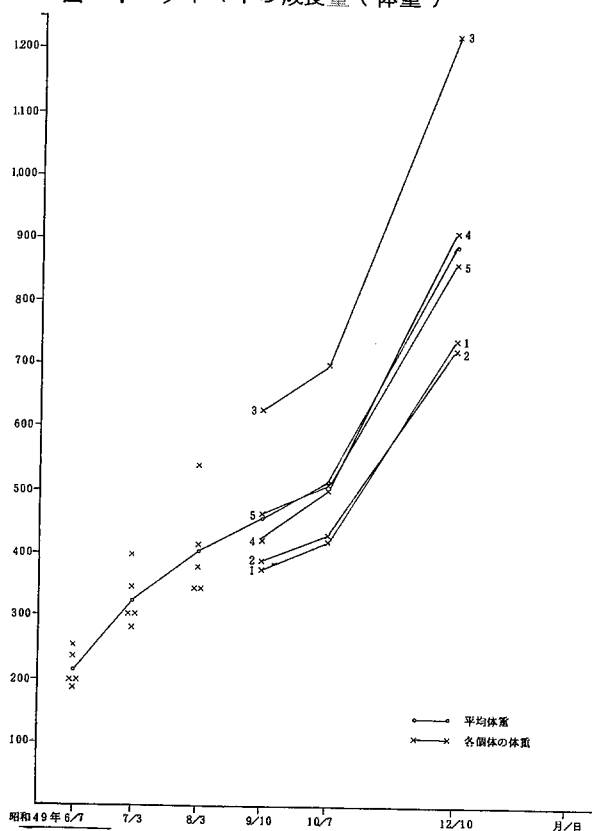
タイマイ5尾を室内1.5t水槽中で、昭和49年6月7日より同年12月10日までの約半年間流水飼育した。

餌料は飼育開始時から9月24日まで冷凍トビウオ、以後は冷凍ミズンを使用し、肉部だけを午前中1回投与した。また投餌前には残餌をとりあげ計量した。

投餌量は飼育開始時体重の約1割の予定であったが、残餌が目立ったため9月中までは飼育開始時と同じ100gづつ与え、残餌がほとんどみられなくなった以後若干増量した。

ほぼ毎月1度甲長、甲幅、体重の測定を行った。

図一1 タイマイの成長量(体重)



※9月10日より各個体に番号をつける。

表-1 タイマイの成長量・増肉係数

測定月日	平均甲長 (cm)	平均甲幅 (cm)	平均体重 (g)	増肉係数	摂餌量 (g/day)	備考
飼育開始 6月7日	11.6	9.4	219			餌料：冷凍トビウオ
7月3日	13.4	10.7	329	3.8	81.0	残餌少ない
8月3日	14.5	11.8	405	4.7	59.4	残餌多い 不活発
9月10日	15.4	12.5	455	6.0	44.0	残餌多い 不活発
10月7日	16.2	13.1	512	5.2	59.6	9月24日より餌料冷凍 ミズン以後残餌少ない
12月10日	19.1	15.7	891	3.0	93.4	残餌ほとんどなし 活発に摂餌する

結 果

各月の測定結果を表-1、図-1に示す。

6月は残餌が少なかったが7、8、9月は残餌が多く、各個体も元気がなくなり、投餌してもすぐに餌に群がるのが少なかった。また増肉係数も悪く、成長速度も若干鈍った。

9月24日より比較的新鮮な餌料に変えた為か、以後活発に摂餌し、残餌もわずかであった。

10月7日より約2ヶ月間で平均374gの増重があり、また増肉係数もこの間が最もよかった。

約半年間の飼育で約200gの個体が900g近くまで成長した。また増肉係数は3から6とかなり差があったが、魚肉だけの投餌でも、よい時は3前後になるものと思われた。